



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年1月31日

上場会社名 ヲタカフーズ株式会社
コード番号 2806 URL <https://www.yutakafoods.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 業務部長
四半期報告書提出予定日 2023年2月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
TEL 0569-72-1231

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	10,281	9.1	684	35.2	787	31.4	547	31.1
2022年3月期第3四半期	11,310	2.8	1,056	1.9	1,147	0.2	795	3.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	78.84	
2022年3月期第3四半期	114.48	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	24,157	21,492	89.0	3,093.34
2022年3月期	24,481	21,185	86.5	3,049.15

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 21,492百万円 2022年3月期 21,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		20.00		20.00	40.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,750	15.1	1,000	26.4	1,080	26.0	700	30.6	100.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,832,311 株	2022年3月期	8,832,311 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,884,341 株	2022年3月期	1,884,207 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	6,948,056 株	2022年3月期3Q	6,948,191 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも社会経済活動の制限が緩和されるなど景気は回復の兆しがみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や燃料価格及び原材料価格の高騰、急激な円安の進行等も継続しており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、新型コロナウイルスと経済活動の両立に伴い、消費者の需要衰退や購買行動の変容、より一層食への安心・安全に対する関心が高まるとともに、原材料価格は依然高く続くと思われ、厳しい経営環境が継続していくと見込まれます。

このような状況の中で、当社は取引先への深耕営業や新規取引先の開拓に取り組んでいくとともに、各部門全てにおいて、最適な設備投資と業務の合理化・省力化の推進を図り、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は10,281百万円（前年同期比9.1%減）、営業利益は684百万円（前年同期比35.2%減）、経常利益は787百万円（前年同期比31.4%減）、四半期純利益は547百万円（前年同期比31.1%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

液体部門は、液体スूपの売上が増加した事により、売上高は3,264百万円（前年同期比13.5%増）となりましたが、セグメント利益は222百万円（前年同期比37.3%減）となりました。

粉体部門は、顆粒製品の受託が伸びず、売上高は2,896百万円（前年同期比4.5%減）となりましたが、セグメント利益は104百万円（前年同期比126.2%増）となりました。

チルド食品部門は、受託が低調に推移し、売上高は1,328百万円（前年同期比6.7%減）、セグメント利益は214百万円（前年同期比33.3%減）となりました。

即席麺部門は、カップ麺の受託が減少し、売上高は2,116百万円（前年同期比37.1%減）、セグメント利益は131百万円（前年同期比59.4%減）となりました。

その他は、水産物の取扱量が増加し、売上高は674百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益は11百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産の部は24,157百万円となり、前事業年度末と比べ323百万円減少しました。これは主に、有形固定資産その他(純額)が295百万円増加し、売掛金が467百万円、建物(純額)が96百万円、機械及び装置(純額)が144百万円減少したことによるものであります。

負債の部は2,665百万円となり、前事業年度末と比べ630百万円減少しました。これは主に、買掛金が252百万円、未払法人税等が231百万円、賞与引当金が129百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は21,492百万円となり、前事業年度末と比べ306百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が269百万円、その他有価証券評価差額金が37百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,454	9,370
売掛金	2,168	1,700
商品及び製品	435	490
仕掛品	28	18
原材料及び貯蔵品	267	328
関係会社短期貸付金	5,500	5,500
その他	75	148
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	17,921	17,550
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,133	2,036
機械及び装置（純額）	1,377	1,233
その他（純額）	1,152	1,447
有形固定資産合計	4,663	4,717
無形固定資産	12	45
投資その他の資産		
投資有価証券	1,525	1,578
その他	357	265
投資その他の資産合計	1,883	1,843
固定資産合計	6,559	6,607
資産合計	24,481	24,157

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,410	1,158
リース債務	1	1
未払法人税等	231	—
賞与引当金	192	63
役員賞与引当金	10	2
その他	487	481
流動負債合計	2,333	1,706
固定負債		
リース債務	4	3
退職給付引当金	943	950
役員退職慰労引当金	14	4
固定負債合計	962	958
負債合計	3,295	2,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	21,903	22,173
自己株式	△3,457	△3,457
株主資本合計	20,767	21,037
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	417	455
評価・換算差額等合計	417	455
純資産合計	21,185	21,492
負債純資産合計	24,481	24,157

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	11,310	10,281
売上原価	9,577	8,962
売上総利益	1,732	1,319
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	240	227
賞与引当金繰入額	9	8
役員賞与引当金繰入額	5	2
退職給付費用	22	19
役員退職慰労引当金繰入額	1	0
その他	397	376
販売費及び一般管理費合計	676	634
営業利益	1,056	684
営業外収益		
受取利息	20	19
受取配当金	45	60
雑収入	28	25
営業外収益合計	94	105
営業外費用		
賃貸費用	3	3
雑支出	0	0
営業外費用合計	3	3
経常利益	1,147	787
特別利益		
固定資産売却益	0	0
補助金収入	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	2
固定資産撤去費用	6	4
特別損失合計	7	6
税引前四半期純利益	1,140	780
法人税、住民税及び事業税	279	166
法人税等調整額	64	66
法人税等合計	344	232
四半期純利益	795	547

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計 (注)2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	2,875	3,034	1,422	3,363	10,696	613	11,310
外部顧客への売上高	2,875	3,034	1,422	3,363	10,696	613	11,310
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,875	3,034	1,422	3,363	10,696	613	11,310
セグメント利益	354	46	321	323	1,046	9	1,056

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計 (注)2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	3,264	2,896	1,328	2,116	9,607	674	10,281
外部顧客への売上高	3,264	2,896	1,328	2,116	9,607	674	10,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,264	2,896	1,328	2,116	9,607	674	10,281
セグメント利益	222	104	214	131	673	11	684

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。